13 筑波学園病院

病院の概要

開設	1975 年７月
開設者	一般財団法人　筑波麓仁会
院長名	五本木　武志
病床数	331 床
標榜科（34科）	内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、心療内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、リウマチ・膠原病内科、精神科、整形外科、脳神経外科、形成外科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、救急科、心臓血管外科、内分泌外科、歯科口腔外科、血管外科、集中治療科
医師数	64 人（常勤）
指導医数	36 人（７年目以上：58 人）
研修医数	11 人（協力型病院研修医含む）
研修医の主な出身大学	筑波大学、東海大学、北里大学、東北医科薬科大学、浜松医科大学、日本大学、新潟大学、千葉大学
外来患者数	820人／日
入院患者数	182人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）

募集要項

応募資格	2027 年３月国家試験合格見込者
採用人数	5 名（予定）
試験日程	2026 年８月頃（予定）
選考方法	面接、小論文
処遇	■身　　分：医員（研修医） ■給　　与：1年次基本給331,500円 その他諸手当等を含む年収約476万円 2年次基本給341,900円 その他諸手当等を含む年収約524万円 ■社会保険：有り ■宿　　舎：有り（単身者用）

応募・問合せ先

筑波学園病院

〒 305-0854　茨城県つくば市上横場 2573－1
担当者：人事部　藤島
ＴＥＬ：０２９－８３６－１２８６（直通）
ＦＡＸ：０２９－８３６－１９１８
E-mail：jinji@gakuen-hospital.or.jp
ＵＲＬ：https://www.gakuen-hospital.or.jp

■つくばエクスプレス：
みどりの駅より農林団地中央行（農林団地循環）谷田部車庫下車
つくば駅（つくばセンター）より牛久駅西口行
谷田部車庫下車
■ＪＲ常磐線：
土浦駅より水海道駅行　筑波学園病院前下車
または谷田部車庫行　谷田部車庫下車
牛久駅より谷田部車庫行　谷田部車庫下車
■関東鉄道常総線：
水海道駅より土浦駅行　筑波学園病院前下車
■筑波大学より：牛久駅西口行　谷田部車庫下車
■コミュニティバス：
つくバス南部シャトル N03 谷田部車庫下車
■常磐道：谷田部インターより　約 10 分
桜土浦インターより　約 15 分
■圏央道：つくば中央インターより　約 10 分

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：人事部 藤島
TEL：029-836-1286（直通）
E-mail：jinji@gakuen-hospital.or.jp

育児支援等

妊婦・出産・育児のための支援制度

■育児短時間制度
■院内保育所の設置
■育児休業
■病児保育
■短時間正職員制度
■産前産後休暇
■出産祝金
■夜間保育

研修プログラムの特色

１年次においては基本研修をしっかりと学び、２年次において自由選択研修を行う。特に２年次に関しては自由選択研修において多様な各科プログラムを選択でき、希望によりスーパーローテイトができる。また、地域医療においては同法人内施設による在宅医療の研修や、周辺地域の開業医での研修など研修医の希望に応じて研修が実施できる。

研修スケジュール例

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
１年次	内　　科						救急部門（麻酔科含む）			外科	小児科	産婦人科
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
２年次	精神科	地域医療	選　択　科									

備考：●一般外来は内科・外科・小児科において並行研修
●CPC は当院にて実施。
●選択科目
【当院内で可能な診療科】腎臓内科、呼吸器内科、外科（乳腺内分泌外科、形成外科含む）、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、消化器内科、循環器内科、リウマチ・膠原病内科
【当院外での研修】代謝内科、血液内科、神経内科、脳神経外科、心臓血管外科、放射線科
●救急当直は研修期間の２年間を通して行う。　約４回／月

専門研修の募集について

専門研修については、筑波大学の専門研修連携施設としてプログラムに参加しています。
詳細については各プログラムを参照してください。

研修・認定施設一覧

・日本腎臓学会研修施設
・日本呼吸器学会認定施設
・日本透析医学会認定施設
・日本老年医学会研修施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
・日本小児科学会小児科専門医研修施設
・日本麻酔科学会麻酔科認定施設
・日本外科学会外科専門医制度修練指定施設
・日本乳癌学会乳腺専門医関連施設
・日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
・日本形成外科学会認定教育関連施設
・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
・日本泌尿器科学会泌尿器専門医拠点教育施設
・日本耳鼻咽喉学会耳鼻咽喉科専門医研修施設
・日本眼科学会眼科専門医制度研修施設
・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
・日本内科学会認定医教育関連病院
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医認定（関連）施設
・日本生殖医学会指定生殖医療専門医制度認定研修施設
・日本消化器外科学会認定専門医修練施設
・日本甲状腺学会専門制度認定専門医施設
・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設

病院からメッセージ

臨床研修委員会 委員長
小川　良子

筑波学園病院はCommon Diseaseの救急を幅広く受け入れている二次救急指定病院です。
臨床研修医には１年目の最初から１年通して週半日～１日の日中の救急外来の1stタッチの当番＋当直や休日診療を経験する仕組みになっており、継続的に救急の経験をすることで幅広いケースの経験を積んで成長していけます。最初はすべて指導医と一緒にやっている研修医も1年が終わるころには自分からいろいろ出来るようになります。内科は循消呼腎膠の専門医がおりそれぞれの分野の専門的な診療の経験ができる他、整形・耳鼻・泌尿・形成・眼などいわゆるマイナー外科や麻酔科がそろっており、様々な分野の研修が可能です。必修診療科としては精神科・地域医療以外の内科・外科・救急・産婦・小児をすべて自施設で経験することが可能であり、アットホームな環境で研修できます。また、筑波大学附属病院や三次救急病院と連携しており、より専門的な研修や進路をふまえた研修を連携施設で行うことが可能です。医師になって最初の2年間は非常に大事な時期です。目標をもって成長してほしいと思っており、我々は全力でサポートしていきたいと思います。

研修医
吉田　達見

当院の臨床研修は、経験豊かな指導医の下で、研修医が主体的に診療に関わることが特徴です。各科ローテーションでは、病棟管理や外来診察、オンコール対応に加え、処置や手術参加を行いますが、研修医のやる気さえあれば何でもやらせてもらえます。また当直や日中の救急対応では、指導医のサポートの下で診察から診断、治療までの一連の流れを担当するため、臨床推論の力を鍛えることができます。さらにローテーションに関して、筑波大学や近隣の市中病院とのたすき掛けが可能な点が魅力で、各研修医の希望に応じたオーダーメイドな研修を行うことができます。のびのびとした環境で実践経験を多く積みたい方は、ぜひ見学にいらしてください。